

設立準備をはじめて1年が経ちました

佐久穂町イェナプラン スクール設立準備新聞

第四号
発行元
一般財団法人佐久穂町
イェナプランスクール
設立準備財団

引き続きよろしく
お願い致します！

財団が設立されてから一

年があつという間に過ぎ、準備期間も残り一年となりました。ここまでの一年は、一日プログラムを三回、地域の方々との話し合いの会を二回実施し、学校名を決定したり、佐久穂町や大日向のことを教えていただいたりしました。また、体験会や見学会をきっかけにして、大日向に約三百五十名の方々いらしていただきました。

これからの一年では、六月の学校設立申請に向けた準備(申請書類の作成、校舎のリフォームや教員研修等)を確実に行うとともに、地域の方々にお力添えいただきながら、引き続き「季



節の「がつこう」という体験プログラムや校舎見学会も実施していきたいと思っております。

来年の今頃には、子どもたちの声が校舎に響き渡り、地域のみなさまにも遊びにいらしていただいていることを想像すると、今からとてもわくわくしています。今年も一年、どうぞよろしくお願い致します。

「冬のがつこう」を開催しました。



三月四日、昨年の「夏のがつこう」「秋のがつこう」に引き続き、季節の学校体験プログラム「冬のがつこう」を開催いたしました。

今回の「冬のがつこう」には、四〜六歳までの二十一名、小学生(一年生〜四年生)が九名、合計三十名の子どもたち、その保護者の皆さまが約六十名、そし

てイェナプランスクールに興味関心を持ってくださった方々が約十名、合わせて約百名の方々参加。

そこに運営スタッフが約二十名。そして大日向地区からは十二名の方々、千曲病院からは看護師の皆さま四名という強力なサポーターの皆さまが運営をお手伝いくださいました。

最高気温が二十度に届きそうな三月とは思えないあの暖かった冬の終わりの一日に、約百四十名の方々、が旧佐久東小学校に大集合し熱気に包まれました。当日ご参加いただいた皆さま、また事前にプログラム企画の段階から協力いただいた皆さまに改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます！



「冬のがつこう」のテーマ

今回のテーマは「技術(大日向の冬の暮らしや工夫を知る)」というもの。寒さの厳しい大日向での暮らしの中にあるさまざまな工夫。その工夫を実際に体験し、体験から自分なりの問いを立て、探究していくことが大きなねらいです。





子どもプログラム (午前の活動)

午前中は、個の学びを重視する「ブロックアワー」です。四・五・六歳の子どもたちは、学校の校庭で「竹馬あそび」「冬さがしビンゴ」「火を観察しよう」の3つのテーマで遊びました。どれから遊ぶか、どれくらい遊ぶかは自分で選択します。竹馬が得意な子が遊ぶのを見て生まれて初めて挑戦する子、校庭で見つけた冬らしいものをビンゴシートにびっしり貼る子、よく乾燥させた丸太に十字に切

り込みを入れた「スウェードントーチ」に灯った火をじーっと見続ける子と、それぞれ。

小学生グループは、学校の外に出て、大日向地区の冬の暮らし方や工夫を学びに出かけました。大日向四区にお住まいの三石さんのお宅を訪問させてもらい、薪ストーブを見せてもらった後は、年輪の秘密について教えてもらったり、昔ながらの冬の定番のお菓子を紹介いただいたり・・・小学生の子どもたちは一つ一つに熱心に耳を傾け、目を凝らし、さまざまな問いを見つけたようでした。



子どもプログラム (午後の活動)

午後は「ワールドオリエンテーション」として、総合的な学びの時間。午前中に体験したことによって生まれたさまざまな問いから、不思議に思ったことや、調べてみたくなったこと、

観察してみたくなったことなどを、どんどんみんなが実践してみました。

例えば「十字に切れ込みの入った丸太はなぜよく燃えるのか？」であったり「教えてもらったあのお菓子はどうやって作られているのか？」といった疑問の答えを、実際に作ったりしながら夢中で探す子どもたちの姿がありました。また校庭では午前中の焚いた火の残り火で、大日向で採れたジャガイモや、サツマイモを焼いたりもしました。

最後の時間には、ランチルームで、保護者の皆さま

も見守るなか「発表会」を行いました。イエナプラン教育では、対話・遊び・学習のほかに、催しも大切にしています。みんなで集まって学んだことを共有したり、称えあったりすることが、共に生きている実感を得ることにもつながります。

発表では、問いの答えが見つかった子はその答えを、新たに分かったことや発見があった子はそのことを、めいめいの仕方でも伝えてくれました。決して完璧な発表を求めるといふことはありません。この発表会



の時間を通じて、子どもたちは、今できることを素直に表現することや、楽しみながらコミュニケーションをとるといった経験ができたのではないかと思います。発表をご覧になっていた皆さまはどのような感じになられたでしょうか。

大人向けプログラム

大人の皆さまのプログラムでは、大きく三つのことに取り組みました。

まずは佐久穂町役場の総合政策課の皆さまをお招きし、「さくほ暮らす」をテーマに佐久穂町の概要、子育て環境、仕事環境、住環境についてお話しいただきました。

実際に大日向小学校に通うにあたり、どんな準備をすればいいのか、住まいや仕事、暮らしの様子はどんなものなのか丁寧に説明をいただきました。



二つ目は、大日向地区にお住いの方々「味噌作り」にチャレンジしました。特に、一般社団法人アンテナさくほの皆さま、ジーバ共和国の皆さま、そして大日向地区の皆さまに事前から当日まで多大なるご協力を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。

味噌作りの工程である①水に浸ける ②煮る ③潰す ④混ぜる ⑤醸すのうちの③と④を中心に行いました。

五つのテーブルに分かれて、柔らかくなつてとつても良い香りがする大豆を、みんなでえいえいと潰しました。かたまりが残らないように、みんなで声を掛け合いながら、地域の方と

もおしゃべりをしながら潰していきます。そこに水や塩や麴を混ぜ、タッパーに投げ込み、あつという間に完成しました。身体の距離が近くなると、気持ちの距離も近づいていく感じがしますね。できた味噌はそれぞれのお家を持って帰り、「発酵」が始まるのを待ちます。食べられるようになるのは半年後の九月が楽しみですね。「新しい学校をつくる」という過程に地域の方々や保護者の方々が共に関わることで、「みんなの学校であること」が醸されていくのかもしれない。「何かをいっしょにつくる」というのは、味噌であれ学校づくりであれば、そこに参加することができれば自然と「協働」が生まれるのだと実感いたしました。

三つ目は、昼食後の時間をいただき、代表の中川よりイエナプラン教育が重視している基本的な考え方や、大日向小学校設立に向けての現在の準備状況を説明させていただき、保護者の皆さまから質問を頂戴しました。

事前の準備から、ご協力ありがとうございました！



「冬のがっこう」の子どもプログラムで大活躍した竹馬は、事前に大日向在住の畠山修さんにご協力いただき制作をしたものでした。竹林に行つて竹を切り、子どもたちが怪我をしないように竹の切り口を加工し、試行錯誤しながら踏み台を付けて、大人も試乗して。とにかく楽しい時間だったのですが、竹を切りに行った際には、「そんな道具の使い方じゃ道具が壊れる！」と教えていただく場面もあり、大変勉強にもなつ



た時間となりました。

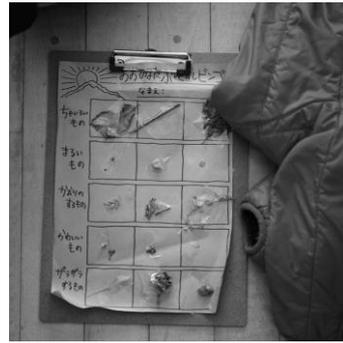
また、小学生たちのお宅訪問を快く受け入れてくださった三石武夫さんご夫婦には、事前に伺つた際に薪ストーブで暖かくなった部屋で「鉄砲潰け」を出していただきました。庭には既に「年輪を教えてあげたい」と思つて」と既にくつかりの丸太も準備してくださつており、とても驚きました。

当日は地元の方々も驚くほど冬とは思えない暖かい一日となり「暑いからストーブは無しだな！」とおっしゃっていたにも関わらず、子どもたちのためにストーブを焚いてくださり、汗をかきながら説明していただきました。

大人向けプログラムで実施した味噌づくりでも、島崎規子さんにお声がけいただき事前にスタッフが味噌づくり体験に参加することができました。また、当日に参加してくださった方々に事前に参加のお声がけをしてくださった皆さまにも御礼申し上げます。

事前の準備からご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

冬のがっこう 写真館



ご協力いただきありがとうございました！

ジーバ共和国の皆さま・アンテナさくほの皆さま・千曲病院の看護師の皆さま
佐久穂町役場 総合政策課の皆さま・佐久穂町の皆さま

「春のがっこう2018」を開催します。

佐久穂の長い冬が終わり、春がやってきたのを感じております。このあたりの桜の見頃は四月末のことです、これからがいよいよお花見シーズン。そして土を耕し、種を蒔き、いよいよ畑仕事本格化してくる時期となります。こんなウキウキできて、さまざまな命の循環を感じられる季節を逃す手はありません。

「春のがっこう」は五月の連休明け、五月十三日（日）に開催を予定しております。プログラム内容については、学校の周辺をあたりこちら廻らせていただきます。現在企画中ですので、佐久穂町の皆さまには「冬のがっこう」でたくさんご協力いただいたばかりですが、またお力をお借りすることが出てくるかと思っております。ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

【お問合せ】 佐久穂町イェナプランスクール設立準備財団 事務局
電話：080-5048-8892（担当 塚原） 公式ホームページ：<http://sjsef.jp>